

## 2Nd ステージ

理事 押領司重昭

今年 9 月に古希を迎えます。本来ならこれを機に 70 年が良いのですが、JS を辞めて 2Nd ステージを歩いてきた 11 年を振り返ってみたいと思います。公的機関に近い JS から民間の三水コンサルタントに転職しました。(同じ下水道の世界ですので、2Nd というより延長戦かもしれませんが。)



三水では、大別すると三つの業務に携わりました。軸足である会社、今年 6 月に退任した当倶楽部の事務局長と水コン協です。振り返ると JS での経験を含め、この三業務は、それぞれが関係し、自分のスパイラルアップに繋がっているのではと感じています。

先ず、水倶楽部で経験した「画像の無断使用事案」(詳細は、昨年 8 月に発刊した創立 20 周年記念文集をお読みください。)です。弁護士への相談、相手方との数カ月に渡る交渉などは、要求を受けたときのスタンスなど、会社業務の参考になっています。さらに、JS では、事故やトラブル事案を担当していましたので、発注者として契約書に基づきどのように要求すべきかなどを経験しました。このことは、逆の立場である会社業務に活かしていると思います。

次は、イベント業務です。会社では、創立 50 周年に関する社史編纂、記念式典等のイベントに携わりました。この業務には、JS 時代のプロジェクトマネジメントが参考になったと感じています。イベントにおけるタスク、その担当者、完了期限、コストを、WBS (Work Breakdown Structure) によりマネジメントしました。

社史の編纂には、水コン協で「流量・水質調査マニュアル」、「不明水対策の手引き(改訂)」作成に委員として携わった経験を活かすことができました。肝は「目次構成」です。目次

構成を委員会でああでもない・こうでもない議論してつくり上げました。執筆途中でも目次構成に立ち返り議論しました。プロジェクトマネジメントでいう「段取り 8 分」です。

水倶楽部の事務局長経験が水コン協業務で活かしています。水倶楽部役員には、多士済々の方がおられます。事務局案に、鋭い指摘をいただき大変勉強になりました。なかには面倒な人もいますが、これも勉強になります。現在、水コン協関西支部の支部長を仰せつかっていますが、支部運営には、水倶楽部での経験が役立っていると感じています。

散文的な振り返りとなってしまうました。最後に、2Nd ステージの初めの頃、自分の立ち位置に悩んでいたところ、先輩から一度だけの人生において 2Nd ステージは、貴重な経験であり、自分は折角の機会を前向きにとらえていると助言をいただきました。貴重な経験ができていると思うと毎日が明るくなります。

## 2025 年度活動報告

### 小規模下水処理場分科会 勉強会を開催

理事・小規模下水処理場分科会 会長 高橋正宏

石川県かほく市は、平成 22 年、市の水関連施設(下水処理場 2 か所、浄水場 2 か所、農集排 1 2 か所)の包括管理委託を、ヴェオリア・ジェネッツ・西原・柿本・オレンジかほく特定業務委託共同企業体に委託し、以後、今日まで同企業体が受託しております。包括管理委託には水関連施設の維持管理に加え、下水、農集排の管路維持管理、料金系事業も含まれますが、共同企業体は 8 名の担当者ですべての業務を効率的に実施しております。

当分科会では、効率的な維持管理がどのような経緯で開始され、運営されているのかを聞き取ることとし、時間を気にせず議論できる勉強会形式で 7 月 22 日、14:30~17:00 の 2 時間半実施しました。勉強会形式とは、参加者を 21 世紀水倶楽部会員に限定し、主として面談方式で自由に意見を交換する方式です。ZOOM による聴取は可能としましたが、意見、質問は面談を主とすることとしました。

那須基理事

この度新しく理事に選任されました(株)クボタの那須です。水との関わりは学生時代に遡り、卒業論文で下水処理水中のリンを晶析法で分離する研究を行い、修士論文で粉末活性炭とセラミック膜のハイブリッド処理法



による微量物質の除去に関する研究を行ったことから、自然と就職も当時の建設省で下水道事業を志し、働くようになりました。退職後も、会社として水環境に取り組んでおり、良い会社と巡り合うことができた幸運に感謝しております。

不思議なもので、建設省や国土交通省に奉職中は出向等のタイミングのために災害の対応に当たる機会はほぼなく、災害でご苦労された諸先輩の皆さまや後輩たちに対して何となく申し訳ない気持ちもありますが、その分、PPPをはじめとした新しい分野の仕事は多かったので、当倶楽部においてもその経験を活かせるよう取り組んでまいります。

趣味はそれほど多くありませんが、月並みに美味しいお酒や食事は最大の楽しみで、それ以外は将棋や麻雀、トランプ、テレビゲームなどゲーム類が好きなので、スマホ全盛の時代となっていつでもどこでも遊べる環境に恵まれている現在、充実したホビーライフを送っています。人とコミュニケーションを取るのも好きなので、オンラインでゲームすることで見知らぬ仲間と遊べる時代に大いに感謝しています。

ライフワークはディスプレイの普及で、当倶楽部の活動には以前から非常に興味を持っておりました。昨年の研究集会では、まさにディスプレイの最前線の現状を目の当たりにすることができ、自分自身、非常に勉強になった次第です。今後とも、当倶楽部の活動としてディスプレイの普及に関することがありましたら、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

水に関する現状認識としては、やはりPR活動が足りていないと考えています。もちろん、水道週間やマンホールカードなど上下水道としての広報活動は各層で熱心に行われておりますが、それでは例えば上下水道料金の値上げに関して理解が得られやすい状況かと言えばそうではなく、もっともっと市民の皆さまには、遊べる水辺が増えている一方で赤潮の発生も残っていることに関心を持ってほしいと考えているところです。

とは言え、一朝一夕で成せることは限られています。当倶楽

当日は、西原環境東日本広域センター中部支所の営業責任者奥野了平氏とヴェオリア・ジェネッツ・西原・柿本・オレンジかほく特定業務委託共同企業体かほく事務所の業務責任者梶田哲也氏(現職6年目)にお越しいただき、かほく市の概要、包括管理委託の経緯と運営についてご説明を受け、質疑応答を行いました。

かほく市関係の概要は以下の通りです。人口 35,000 人、上述の水関連施設を平成 22 年度より 5 年間の包括委託契約で運営している。全国的にも非常に早い時期に包括委託を行ったのは、当時の市担当者の将来的な危機感からである。包括委託の効果により市の担当者数は当初の 19 名から現在は 8 名に削減された。業務の履行監視には市職員のほか、コンサルティング会社に委託して実施している。包括管理を受託している企業体は、日常の維持管理を可能な限り省力化するとともに、機器が故障した場合の補修業務も、本体の更新を避け、できる限り部品交換で済ませ、作業も内製化することで費用を抑えている。

主な質疑応答では、補修業務の費用を抑制することに対する企業体側のインセンティブを問うたところ、あらかじめ決められた補修の費用の範囲内に収まるようにすることで、市側との信頼関係が強固になり、業務の自由度が増すことを挙げられました。

勉強会は時間の制約も少なく、非常に密度の濃い議論ができるため、今後も取り入れていきたいと思いました。



部の活動を通じて、ひとつずつ積み上げていければと考えています。会員の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

## 会員だより

### 葛西海浜公園のビーチクリーンに参加しました 2025/07/27

亀田泰武

月に一度実施されているビーチクリーンに参加。NPO ふるさと東京を考える実行委員会が主催している。浜の状況を見たかったので朝、早めに出かけた。干潮は12:41の24cm。泥がたまっている仕切り柵西側へ行くと、大きなスズキがあちこちに打ち上げられていた。ちょうど死んだ魚をカートで回収する係の人が来て、毎日のように打ち上がるとのこと。当日浅瀬で行われていた引き網作業では、エビや稚魚が取れていたのに死因は酸欠よりも温度によるものだろうか。

葛西海岸の断面は大潮満潮位と大潮干潮位の間はけっこうな傾斜があり、干潮位の海側はずっと緩やかな地形となっている。泥は干潮位から少し沖合の多分10m幅くらいにたまっていてその厚さは数cmから10cmくらいでないだろうか。その下は砂層となっている。この泥の層のおかげで海に入りにくい。浜の西半分の渚がこの状態にずっとなっている。

ビーチクリーンは、江戸川区の広報でも紹介していて、気温が高いにも関わらず、40人内外の人が集まった。作業はカキ殻とごみを別々に集めるもので10:10~11時の間に実施。しばらく雨がなかったので打ち上げられたごみは多く感じなかった。カキ殻もごみよりずっと少ない感じであったが拾ってみると結構な量となった。どこかの海水浴場でカキ殻が浜辺に散乱し、危ないので泳げないといった報道があったが、ここでも増えているようである。生態系を考えるとどうかと思うが、水遊びする人が怪我しないようにということで除去しているようである。カキ殻に専念し4kgくらい集めた。持ち帰った中で二番目に多かったのが、海苔の佃煮をいただいた。皆が持ち帰った総量はけっこう多かった。沖合にカキ礁はなく、カキは干潟にはいないので近くの堤防などから流されてきたものだろうか。

### 徒然水草 其之九 「君の名は？」

嫌気好気法師

今年で6回目の年男になった。歳は取りたくないもので、いやでもあちこちと経年劣化が進む。特に記憶力だ。突然ですが、ここで笑い話をひとつ。

物忘れに悩むお爺さんが、記憶力増強セミナーを受講した。興奮気味に帰ってきたお爺さん、お婆さんに「良いことを聞いたぞ。記憶に大事なことは三つ！まず適度な運動だ！」「あとの二つは何ですか？」「えーと・・・忘れた。」

自宅で「さて」と立ち上がったものの、何をするのか思い出せないことがある。某新聞川柳欄の「我に問う YOUは何しにこの部屋に」という句には大笑いしたが、他人事ではない。部屋に入ってから呆然と立ちつくす状況は身に覚えがある。

思い出せなくなるのは人名の場合が多い。先日、ある歌を耳にしたが、歌手の名が出てこない。中国出身で数々のヒット曲を持つ、誰でも知っている有名な歌姫だ。正確に言うと、何故か「鄧麗君」という中国名だけは思い出したものの、良く知られている名前が出てこない。喉元まで出かかっているのだが、どうしても出てこない。すごくもどかしい。スマホで検索すれば瞬時にわかるが、それはやらない。こういう場合、思い出すまで何日でも頑張るのである。

それでは、どうやって思い出すのか？力むのである。体でなく脳で力む。具体的には彼女の顔や声を思い浮かべ、埋もれた記憶を無理やり掘起こすイメージである。・・・とは言っても、そればかりやっている訳にも行かないので、暇な時に脳で頑張る。それでも出てこない。思わずスマホに手が伸びるが、ここはグッと我慢だ。

そうこうしている内、四日目だったか、何故か会社のトイレに入った瞬間にテレサ・テンという名前を思い出した。トイレにテレサ・テンを連想させる何かがあった訳でもなし、不思議なことではあるが、とにかく思い出した。この瞬間はたまらない。濃い霧が突然ぱっと晴れ、青空が見えたような爽快な気分だ。

そもそも記憶とは、脳内の神経細胞（ニューロン）が構成するネットワークにおいて、シナプスで接している神経細胞の間で伝達物質であるタンパク質がやり取りされているということらしい。何故、タンパク質が具体的な記憶になるのか魔術不思議だが、脳生理学者ならぬ身には想像もつかない。とにかく、思い出せたその瞬間には脳内にドーパミンがどっと分泌され、これが快感をもたらしてくれる（ような気がする）。また、ニューロンネットワークが再構築され、記憶力が復活するらしい。

このために筆者は、出てこない名前を無理やり思い出そうと苦闘している訳である。

そんなことで記憶力が復活するなんて話をどこで聞いたの  
かって?・・・それは、忘れました。

## 編集幹事のあと整理

- 巻頭文の押領司氏。肩書きが理事・事務局長から理事に。退任された事務局長の時はご苦労様でした。氏個人的にはそのポストでいろいろと「スパイラルアップ」につながったとのこと、よかったですね。ちなみに編集幹事子は広報担当としてホームページの作成、アップのスキルを独学で身につけました。
- 高橋理事からの会員限定勉強会報告。前号の理事長からの「当倶楽部会員も常に進取の気持ちで勉強していくことが大事になってきます」と関係しているのでしょうね。
- 新役員自己紹介残りの那須基理事掲載しました。
- 会員日よりコーナーへの投稿を募集しています。投稿はいつでも受け付けます。直近の号に掲載します。投稿要領などは望月から毎回お出ししている原稿依頼メールをご覧ください。

編集幹事・望月